

追加在庫

A5052B-H112

360 φ迄

A5056B-H112

360 φ迄

A5083B-O

360 φ迄

A2017B-T4

360 φ迄

A6061B-T6

360 φ迄

常時在庫品揃え
寸法切・定尺共

大河内金属株式会社

尼崎事業所 尼崎市鶴町7番25号
〒660 TEL(06)6411-6852 番
-0092 FAX(06)6411-6241 番
神奈川営業所 横浜市中区山下町194
外丸ビル9F
〒231 TEL(045)663-3611 番
-0023 FAX(045)663-2770 番

日刊メタルレポート

発行所
株式会社 日刊金属新聞社
本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話(06)6932-5443 代表
北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話(076)444-6836
購読料 半年44,100円(前納)3ヵ月22,050円

◆自動車生産台数

	2月	3月	4月
生産台数	79万5632台	40万4039台	29万2001台
前月比	+12.7%	-49.2%	-27.8%
昨年の前月比	+11.7%	+12.2%	-22.5%

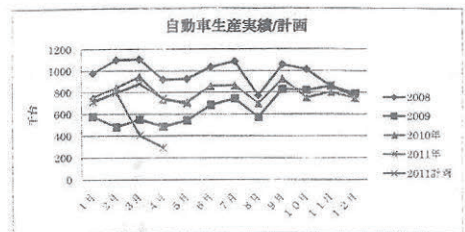
◆自動車販売台数

	3月	4月	5月
販売台数	27万9389台	10万8824台	14万2154台
前月比	+10.6%	-69.9%	+30.6%
昨年の前月比	+60.3%	+3.2%	+28.4%

◆生産計画台数 (震災・計画停電のため発表はなし)

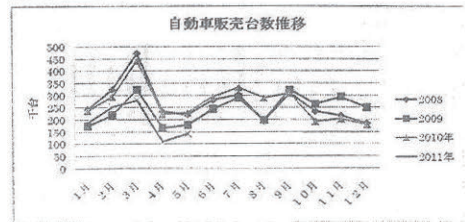
	3月	4月	5月
生産計画台数	88万3000万台	74万1100万台	69万3300万台
前月比	+10.8%	-15.8%	-6.4%

自動車生産台数推移



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

◆【前月の経済指標】
◆日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前月比二七・八%減の二九万二、〇〇一台であった。
◆日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は三〇・六%増の一四万二、一五四台。
◆震災・計画停電のため発表はなし

(二面へ続く)



橋本健一郎氏

橋本金属 アルミ 橋本健一郎氏リポート①

輸出は電気銅が大幅に減少

電気銅の輸入 緊急輸入で大幅に増加

【概況】六月前半、オサマビンラディン拘束・射殺の報を一旦、明るいニュースと受け止めたものの、報復テロに対する懸念や、前月に続き中国PMI(消費者物価)が五・三%増と予測を大幅に上回り当局が預金準備率の引き上げと金融引締めを行ったことを嫌気し、六〇〇ドル程度大幅下落、L

ME現物後場買いで八、七九六ドルの前半締めとなった。後半は三月の米銅輸入量が前月比で三〇%増と大幅増加したこと。上海銅在庫の大幅減少が続いていることを好感。六月一日現在で九、二三四・四〇ドル(セツルメント)。建値七九万円のスタートとなった。

銅建値は七四〇八二万円程度か

LME相場は一旦調整も 米中に不透明感

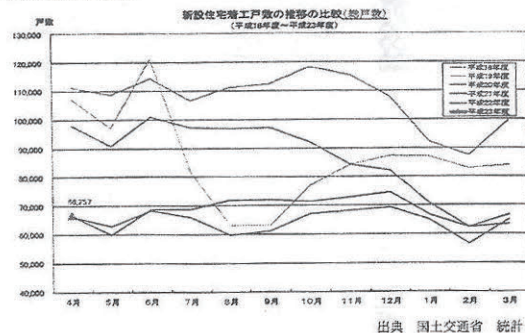
(二面より続く)

◆新設住宅着工戸数

国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比五・三％増の六万六、七五七戸であった。

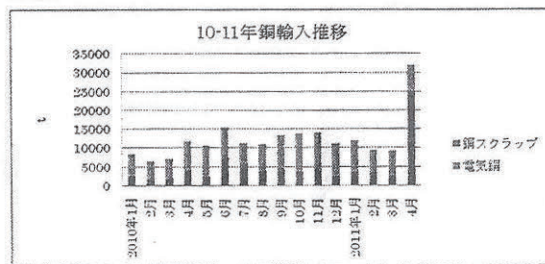
	2月	3月	4月
日本新設住宅着工数	6万2252戸	6万3419戸	6万6757戸
前月比	-6.7%	+1.9%	+5.3%

新設住宅着工数推移



	2月	3月	4月
輸入			
電気銅	3368 t	2686 t	2万5131 t
前月比	-5.5%	-20.2%	+835.6%
スクラップ	5919 t	6552 t	6752 t
前月比	-29.1%	+10.7%	+3.1%

輸入推移

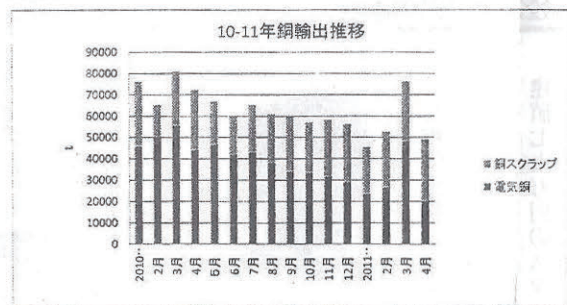


◆貿易関連指標

財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が五八・三％減の一万九、九五二t、スクラップが六％増の二万八、九九三t。

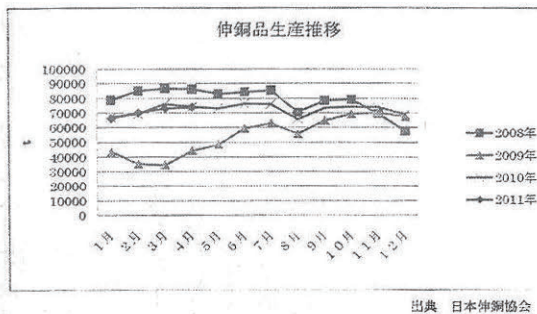
輸出	2月	3月	4月
電気銅	2万6456 t	4万7851 t	1万9951 t
前月比	+13%	+80.9%	-58.3%
スクラップ	2万6281 t	2万7362 t	2万8993 t
前月比	+19.8%	+8.3%	+6%

輸出推移



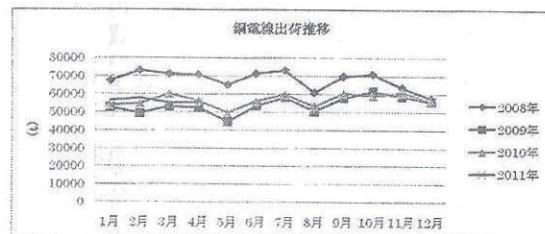
【前月の国内指標】

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比一・二％増の七万三、九二〇t(昨年の前月比二・四％減)。



日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比〇・二％増の五万五、四〇〇tであった(前年同期六・六％減)。(六面に続く)

(二面より続く)



出典 日本電線工業会

【見通し】

震災による電気銅生産障害の影響を多大に受けた月となった。

壊滅的な影響を受けた自動車生産は前月比二七・八%減の一九万台、昨年の前月比二・五%減から大幅悪化。

また国内自動車販売も一四万二、一五四台(前月比三〇・六%増)と、昨年の前月比(二八・四%増)から小幅上昇するも、昨年単月比では四〇%減と先月に続き震災の影響で大幅減。

復興需要品種が多い(エアコンパイプ、ガ

四月の米製造業受注一・二%減

輸送関連を除くと〇・二%減商務省

米商務省は二日、四月の製造業受注が四、四〇三億七、二〇〇万ドルと、前月比一・二%減少(前月は三・八%増)と改定したと発表した。減少率は、市場予想平均(一・〇%増)ロイター通信調べ)を上回り、二〇一〇年五月(一・四%)以来最大だった。

変動の激しい輸送関連を除くと〇・二%減(前月は二・九%増)、国防関連を除くと一・二%減(同三・六%増)だった。

耐久財は三・六%減、機械類は二・八%減。このうち産業機械は横ばい。コンピュータ・電子機器は一・四%増。

一次金属は二・四%減。輸送機器は九・三%減。うち民間航空機・同部品は三〇・〇%減。国防用航空機・同部品は七・四%減。一方、自動車・同部品は五・五%減。

ス、水回り系)伸銅品生産量は、前月比一・二増%の七万四千と昨年の前月比(二・四%減)から上昇。

同様の銅電線出荷量は前月比〇・二%増の五万五、四〇〇と、昨年の前月比六・六%減から大幅上昇した。

新設住宅着工数は前月比五・三%増の六万六千戸台。下げ止まりが見られた。

輸出に関しては、震災パニックも一旦落ち着き、仮設住宅需要や自動車生産回復計画に伴う内需復活から電気銅が前月比五八%減と二万七の大幅減少。

輸入に関しては小名浜・日立 両精錬所の生産障害(月約三万七)から緊急輸入が行われ、前月比八三五%の二万五、一三一と大幅増となった。

銅需要に関しては、震災によるサブプライチエーン問題も目処がつき、六月で八割程度、その後、順次回復し一年度では昨年並みの生産を行うとの発表を受け、伸銅品、黄銅棒共に仮設・復興需要による大幅増が見込まれ、且つ夏季計画停電による作りだめ需要により大幅増。

銅価格に関しては、いままでの上昇相場を演出してきた米、中の景気回復及び期待に足踏みが見られ出した中、新規プラス材料難から一旦調整が入るとの予測からLME価格で八、五〇〇、九、五〇〇ドル。銅建値に関しては銅建値で七四、八二万円程度と予測している。

非耐久財は〇・六%増加。また、資本財は六・五%減。国防資本財は一・六%減、非国防資本財は七・一%減だった。

設備投資の先行指標となる航空機を除く非国防資本財受注は二・三%減(同五・四%増)。設備投資の一致指標となるコア資本財出荷は一・五%減(同三・七%増)。

四月の製造業出荷額(半導体含む)は前月比〇・二%減の四、四四五億二、二〇〇万ドル。同月末の未済受注残高(半導体除く)は〇・三%増の八、五〇七億一、一〇〇万ドル。

◇東工取(三日前引)

金	三、九七六円
銀	九三・九〇
白金	四、七〇一
パラジウム	二、〇〇〇